

エコツーリズム推進方策の検討スケジュール（案）

	開催日（予定）	検討事項（案）
第1回推進会議	11月12日	課題に関するフリートーキング
第1回幹事会	12月4日	課題に関するフリートーキング及び推進方策の方向性の検討 （憲章等概念普及、エコツーリズム100選、情報流通、地域の取り組みへの支援、表彰等人材育成、ノウハウの普及、モデル事業等）
第2回幹事会	1月中・下旬	
第3回幹事会	2月中旬	
第2回推進会議	3月	事例紹介 推進方策の検討
第4回幹事会	4月	推進方策の詳細な検討 （憲章等概念普及、エコツーリズム100選、情報流通、地域の取り組みへの支援、表彰等人材育成、ノウハウの普及、モデル事業等）
第5回幹事会	5月	
第3回推進会議	6月	推進方策の検討・とりまとめ

公表

1. エコツーリズム推進会議が目指す基本目標

エコツーリズム推進会議では、次のような目標を設定し、目標の達成に向けて複数の施策の実施によって課題の解決を図ることとする。

●エコツーリズムの理解を広める

→ エコツーリズムの理念や、その実現による幅広い効果、地域や社会に対する貢献について明らかにする。また、これらをわかりやすく国民、地域、観光事業者などに伝える

●エコツーリズムに積極的に取り組む地域を拡充する

→ わが国を代表する資源が立地する自然地域におけるエコツーリズム推進ゾーン、里地や里山など身近な自然を有する地域においてエコツーリズムをキーワードとして地域振興を推進する地域を拡充する。

●エコツーリズム推進事業者を拡充する

→ エコツーリズムを明確に意識して事業運営を行う観光事業者を増加させる。専業でエコツアーガイド業を行う者を増加させる。

●エコツアー需要を拡大する

→ 国民のエコツアー参加経験率を10%にまで引き上げる（現状では約5%、財団法人日本交通公社調べ）。なお、認知度は60%（現約44%）、参加希望率は60%（現約45%）を目標とする。

2. 目標達成に向けた基本方針

解決するための基本的な方針として、次の4つの基本方針を設定する。

(1) 全国規模の啓蒙活動、キャンペーンや広報活動を展開する

エコツーリズムの基本的な考え方を地域や事業者に浸透させるとともに、一般消費者に幅広くエコツーリズムに対する親近感を浸透させるとともに、具体的な需要を誘発させるための啓蒙活動や広報活動を展開する。

(2) エコツーリズムモデル地域の設置とモデル事業の実施

多くの地域の見本となりうる実例とするために、複数のモデル地域を設置し、資源調査、エコツアープログラムの作成、ツアーオペレーターの育成、モデルツアーの実施、利用促進エリアと保護エリアの設定、観光消費額の流れの把握、あるいは他の実験的な試みなどを行い、その成果を広く紹介する。モデル地域は、国立公園などわが国を代表する自然が在する地域、里地や里山などの生活の身近にある自然が在する地域からバランス良く選択する。

(3) エコツーリズムを推進する地域を支援する

エコツーリズムの推進を目指す地域に対して、資源調査、資源の活用方法、資源の持続的な管理、人材育成、調査研究などについての情報提供を行う。

(4) エコツーリズム関連事業者を支援する

エコツーリズムによる地域経済の活性化と、エコツーリズムへの持続的な取り組みのための中心的な役割を果たすエコツーリズム関連事業者を育成し、成長を支援する。